

党市議会議員 南畑さち代



2020年4月1日から実施予定で会計年度任用職員制度の待遇改善(非常勤職員やアルバイト職員)が提案されました。内容はこれまでどおり働き続けられる方は収入が増えますが、切り替えによる経費の増加分について、民間委託をはじめとする全体の人件費抑制で進めようとしています。その1つとして、学童保育(若竹学級)の指導員を民間委託することが提案されました。党・市議団の森下議員は、一般質問で市長に「学童保育事業が重要と考えているのであれば、指導員の待遇改善等の課題がある中で、安易に民間に委託せず、市民の意見を聞き、市が責任をもって行うべ

9月議会で学童保育が民間委託に！

きではないか」と質問。市長は「これまで対象者の拡大や学級の増設を行い、待機児童を出さないよう充実に努めてきた。今後も指導員の人材確保と合わせて保育の質が向上し、更なる向上が図られるよう努めていく」と民間委託の方向を進める答弁でした。

付託された経済・文教委員会でも、森下議員は「教育委員会の提案は突然の方向転換であり、昨年検討したといいつつ、利用者にもそこで働く指導員にも全く知らされておらず、指導員不足や保育の向上など民間委託しさえすればすべて解決できるような説明がされ、きわめて無責任で、拙速すぎる」と発言。以上の理由から「民間委託するなど到底認められるものではない」と反対しました。また本会議の最終日には党・市議団として反対しました。

若竹学級



Relay Talk

福島県議選でいわき市へ応援に行かれたY・Kさんから送ってもらいました。和歌山でもおなじみの富岡町のフアッションセンターが8年前の原発事故のままになっています。店内に吊り下げられた衣類がそのままの姿でウインドウから見えます。周りは雑草に囲まれており、その姿にショックを受けたといわれていました。こういった中でさらに、台風により甚大な被害が広がっています。断水も続いています。1階の天井まで泥水に

福島県議選応援の方に 聞いた被害のことなど

浸かり自動車はダメになってしまっている家がほとんどだそうです。

いま私たちにできることというところで、地域の後援会で街宣や生協まつり帰りのみなさんなどに緊急救援募金を訴えました。短時間で10954円のご協力をいただき、紙面をお借りしご報告します。(奥村のり子)

のり子の週間日誌 (主なもの)

- 10月25日 市駅前・宇治交差点宣伝 公務 会議
- 26日 公務 パーム前宣伝
- 27日 つどい(城北) 地域訪問(西脇)
- 28日 河西無料生活相談 公務
- 29日 段会議 大運動市交渉
- 30日 紀の川駅エレベーター県要請
- 31日 市駅前無料生活相談 医療関係者後援会

あきました

税金で“おもてなし”する 毎年数千円でお花見！



吊り下げられた衣類などがそのまま見える建物、周辺は雑草がいっぱい。



自民党幹部からも自らの後援会を招待しています。この実態が本来の招待範囲を逸脱しているスクープで大反響。日曜版20日号にも続編があり会計検査院の元調査官が「招待範囲を逸脱」と指摘しました。開催要項には皇族や各国大使はあっても安倍晋三後援会はないのに数百人の参加です。

毎年春になるとアベ首相主催で「桜を見る会」を開催しているそう。赤旗日曜版10月13日号1面です。(日刊紙は21日付)これに関わる費用は国民の税金で予算額は14年度から19年度は1767万円ですが、この6年間はすべて3000万円以上で毎年増えて今年度は5519万円でした。従来は1万人前後だったのに今年度は1万8200人、18年は例年の予算の3倍、529万円支出され国会で問題になったという。首相自らの後援会関係者を、おもてなし、するという税金私物化疑惑です。首相の地元山口県から数百人規模で下関のアベ事務所が飛行機やホテル、バスなど事務所が手配すると言う。首相の妻のスキーや農業、酒造仲間を招待していたことも判明。他の閣僚や桜はあるのに。(編集室)

リレートーク

Relay talk

リレートーク